高校国語現代文　小説問題を解く前に01　結局何を問われているのか

評論系の文章はだいたい論理的に書かれているので、しっかり勉強すると読み解く側にも理解しやすいのに対し、小説は文章があいまいな部分も含まれているので、わかりにくいと感じる方も多いようです。
逆に読みやすい小説でラッキー!なんて思ったのに、いざ問題を解く段階になるとどうやって選択肢を絞っていいのかわからない・・・
そんな方のために、小説問題を解く前に知っておきたい知識や選択肢の絞り方を学んでいきましょう。

小説問題の設問では、結局何を問われているのか

小説問題の本文の読み方の前に、設問の問題文そのものについて考えてみましょう。
まずは次の例題をやってみます。

例題A

本文を読んで、後の問に答えなさい。

そう思ったら、もうコンビニに向かって走っていた。自宅からはかなり遠いが、十九時過ぎくらいだとすればまだ間に合うはず。息を切らしてついた時には十九時を五分ほど過ぎていたが、カミオらしき人物は店内にはいない。
そうはうまくいかないか・・・そう思った時、自動ドアが開いてカミオが入ってきた。
「あれっ、ギスケじゃん。どうして・・・」
「あ、いやコンビニでアイスでもと思って・・」
「でもおまえんちから近いのって、ドーソンじゃ」
「あ、いや、ウィット限定のがあって・・」
ギスケはそこまで言ってさすがにわざとらしいかと思ったが、一瞬の沈黙のあとだった。
「このあいだは俺も悪かった。気を使わせてしまったな」
「いや、こっちこそ・・・アイス、おまえのも買うよ」
「おう、ありがと。ちょうど食べたいと思っていたんだ」

（縞井　一樹「ねむとクロの森」より）

問　＿＿＿＿のようにカミオが言ったのはなぜですか。最も適当な選択肢を選びなさい。

1　ただでアイスを買ってもらえてラッキーだと思ったから。
2　ギスケにアイスをおごらせようと思ったから。
3　今ちょうどアイスを食べたいと思っていたから。
4　ギスケと仲直りしたいと思ったから。

どうでしょうか。選ぶことができましたか。
いや、選ぶ以前に、この設問って　**なぜですか**　とあるけど・・・なぜ？　理由？
カミオがこのセリフを言った理由は、直後に書いてあるように思うけど・・・それとも他の箇所にあるのか・・・
そんなことを考えた方！　あなたは間違っているわけではないのですが、ちょっと待ってください。
では、次のページで解説してみましょう。

前のページの設問の答えがわかりましたか？

なぜですか　と書かれているので、理由を聞かれていると思ってがんばって本文から理由になりそうな箇所を探したり、理由を考えたりする方もいると思いますが、実はそうではないのです。

問題文が次のようになっていたら、おそらく勘違いはしないでしょう。

問　＿＿＿＿のようにカミオが言った時の心情を最もよく表している選択肢を選びなさい。

1　ただでアイスを買ってもらえてラッキーだと思ったから。

2　ギスケにアイスをおごらせようと思ったから。

3　今ちょうどアイスを食べたいと思っていたから。

4　ギスケと仲直りしたいと思ったから。

これならどうでしょうか。選択肢は全く同じですが、問題文が少し違います。

前のは　なぜですか　でしたが、今回は　**心情を**　になっています。

じゃあ違う問題なのかというと、実は同じ問題です。

共通テストでも各大学の二次試験でも　なぜですか　や　どういうことか　などの聞き方をしてくる問題文がありますが、

小説問題では基本的には全部**心情問題**なのです。

これを知らないと、全然違う選択肢を選んでしまうことがありますので要注意です。

ポイント

小説問題では、設問の聞き方が多少異なっても、基本的には心情問題である。

心情が問われていることがわかったところで、どうでしょうか。カミオの心情はどれなのでしょうか。

本文からは、さすが2　は無さそうです。次は、1　も無いでしょう。この二つの選択肢は本文には根拠が書いていないですし、ちょっと深読みしてもわからないはずです。

あとは、3　か　4　ということになりますが・・・

4　は直接は書いてありませんが、「俺も悪かった」「こっちこそ」というセリフから、仲直りしたいことはわかります。

3　はどうでしょうか。カミオは「ちょうど食べたいと思っていた」と言っていますが・・・

心情ってどんなもの？

カミオがアイスを食べたいと思っている可能性はゼロではない、いやむしろ高いと思います。

でも待ってください。これは小説を使った問題なんです。そして問題の設問で聞かれていることは、お腹がすいたから食べたい　といったことではなく、登場人物の心情なのです。つまり、

・お腹すいたから　ご飯を食べた。

・喉が渇いたから　お茶を飲んだ。

・転んだから　痛くて涙が出た。

などのように、あまりに単純過ぎることは心情とは言えません。

心情とは、それほど直接的に書かれていることではなく、登場人物の動作やセリフなど、書かれていることからある程度は把握できる登場人物たちの心の動きのことです。

（次のページで心情のまとめ）

ポイント

あまりに単純すぎることは、心情とは言えない。

そそも小説というのは、全てを説明するように書き過ぎることはあまり良くないとされているので、たとえばさきほどのシーンの終わりに、

カミオは、ギスケにも謝罪したい気持ちがあったことがわかり、しかもアイスを買ってくれるという気遣いもうれしく、一緒にアイスを食べることによって仲直りすることができそうで、とてもうれしかった。

などど書かれていたら随分と説明が多い小説で、雰囲気などが無くなってしまいそうですよね。

ですから、小説は説明し過ぎないものだと思ってくださささい。

ポイント

小説ではあまりに説明的に全てが書かれているわけではない。

心情はどこで判断するのか

ここまでわかったところで、1ページ目の例題がわかってきましたね。あとは心情をつかむ方法がわかれば、問題を解くことができます。

そこで心情を把握する時の判断材料が、登場人物の動作やセリフということになります。

ポイント

心情の把握には、特に登場人物たちの動作・セリフに注目する。

たとえば文章の中の動作

・そう思ったら、もうコンビニに向かって走っていた。　という動作は、

←

早くカミオに謝罪したいというはやる気持ち　ですね。

・一瞬の沈黙の　は、二人とも動きもセリフも無い状態ではありますが

←

二人のぎこちなさが表れています。

これが登場人物の動作からある程度は判断できることです。

セリフは一番の判断材料と言えます。この小説でもお互いの謝罪したい気持ちがちゃんとセリフからわかりますよね。

よって例題の答えは　4　ギスケと仲直りしたいと思ったから。　だとわかります。

ではこれまでのポイントをまとめてみましょう。

まとめ1　小説の設問に答える時に大事なこと

・小説問題では、設問の聞き方が多少異なっても、基本的には心情問題である。

・あまりに単純すぎることは、心情とは言えない。

・小説ではあまりに説明的に全てが書かれているわけではない。

・心情把握には、特に登場人物たちの動作・セリフに注目する。

では、02番ファイルの例題Bをやってみて、もう一つの重要事項を確認してみてください。